

仏具磨き・報恩講 (帰敬式)・大正琴



12月7日(日)には、親鸞聖人報恩講が勤まりました。今年も徳成寺ではこの機会に仏教徒を生み出す儀式である帰敬式ききょうしきを執り行いました。

阿弥陀仏と親鸞聖人の恩徳に感謝する法要である報恩講にふさわしく、仏道を共に歩む仲間が一人でも多く誕生したことが何よりの誇りです。



報恩講の後には、「大正琴チャリティーミニコンサート」があり、大いに盛り上がりました。右の写真はかつてマイク真木が歌った「バラが咲いた」を、参加者全員が赤い紙でできたバラを手にして、ふりふりしながら踊り歌いました。まことに恥ずかしいやら、楽しいやらで、とてもいい年忘れができました。

ききょうしき (帰敬式)・大正琴

11月24日(祝・月)午後2時～徳成寺で「仏具磨き」がありました。多くの参加者に手伝って頂きました。中には初めての体験される方や、ご家族全員で参加して下さい方もあり、とてもたすかりました。おかげ様で、ぴかぴかの仏具で報恩講を迎えることができました。



住職が「お坊さんこころの処方箋」と題してお話致しました。思い通りになる部分とそうでない部分を見極めた上で、大切なこと唯一つに集中する。これが仏教的にこころのケアを考える上で、とても重要だという内容でした。

